

## 中学校第2学年 音楽科学習指導案

日 時 平成25年10月10日(木) 2校時  
指導者 教育センター所員 末次 知子

1 題材 歌詞の情景や心情を思い浮かべ、曲想を味わいながら歌おう

2 教材 「荒城の月」(土井晩翠作詞/滝廉太郎作曲)

### 3 題材設定の趣旨

- 本題材『『荒城の月』の情景や心情を思い浮かべ、曲想を味わいながら歌おう』は、歌唱共通教材を題材とした歌唱の学習を通して、我が国の自然や四季の美しさを感じ取ったり、我が国の文化や日本語のもつ美しさを味わったりしながら、我が国の音楽文化についての理解を深めることをねらいとしている。

中学校学習指導要領には、我が国の音楽文化に親しみ一層の愛着をもつ観点から、我が国の自然や四季、文化、日本語のもつ美しさなどを味わうことのできる歌曲を更に取り上げるようにすることが改善の具体的事項として示されている。また、我が国のよき音楽文化を世代を超えて受け継がれるようにする観点から、その趣旨にふさわしい7曲が歌唱共通教材として提示されている。

「荒城の月」はその中の1曲で、人の世の栄枯盛衰を歌いあげた歌曲である。

- 本学級の生徒を対象に実施した意識調査では、学習指導要領に歌唱共通教材が提示された平成23年以降に学習した曲のうち、よいと感じる曲として、34名中19名が「ふるさと」、4名が「赤とんぼ」を挙げている。よいと感じる理由として「ふるさとのよさを感じさせる歌詞」「旋律が好き」と回答している。その中でもよいと感じる曲を一部分でも歌えると回答した生徒は、23名中18名であった。歌唱共通教材の歌詞の内容や旋律の特徴を感じ取りながら歌った生徒は、学習した曲を「よい」「好きだ」と振り返っていると考える。一方「よいと感じる曲がない」あるいは無回答の生徒が11名おり、そのうちの6名は「曲が分からない」あるいは「旋律は分かるが歌えない」と回答している。また、本学級の生徒は、クラス合唱コンクールに向けた歌唱の活動では、楽しく意欲的に取り組むことができている。意識調査では、31名の生徒が「クラスで合唱することが楽しい」あるいは「どちらかといえば楽しい」と答えている。しかしながら、「一人で歌うこと」になると「楽しい」あるいは「どちらかといえば楽しい」と答えた生徒は13名に減少する。さらに、前述の歌唱共通教材に「よいと感じる曲がない」あるいは無回答の11名においては、9名が「楽しくない」と回答している。その理由として「自信がない」「音痴だから」と述べており、歌唱表現の技能に課題がある生徒は、歌詞の内容や旋律の特徴を感じ取ることができにくい傾向があると考えられる。生徒一人一人が抱える課題を把握し適切な指導をすることによって、歌詞の内容や旋律の特徴を感じ取らせ、曲想を味わわせながら歌わせることができると考える。

- 本題材は、学習指導要領の「A表現」(1)歌唱の指導事項アの「歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。」を指導のねらいとして、[共通事項]のうちリズム、速度、旋律(音階)、強弱、形式を関連させながら指導を進めていく。指導に当たっては、歌詞の内容や旋律の特徴などを感じ取らせ、これらを生かした表現を工夫する視点をもたせたい。そのために、比較聴取をして音楽の特徴を感じ取らせたり、言語活動を行って表現の工夫を深め合わせたりするなどの手立てを取る。また、国語科の古典や社会科の我が国の歴史、美術科の日本の作品など、我が国の伝統と文化についてそれぞれの教科で学習する内容を把握し、活用するなどの手立てを取り、音楽の教科と様々な教科における学習内容とを関連させるような工夫も図りたい。以上のような歌唱の学習を通して、「荒城の月」が表現する情景や心情を感じ取ったり、日本

語のもつ美しさを味わったりしたことを歌唱の表現に生かして歌い、我が国の音楽文化についての理解を深めることを目指す。

#### 4 題材の目標

- 「荒城の月」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫しながら歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 「荒城の月」のリズム，速度，旋律(音階)，強弱，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わい，曲にふさわしい音楽表現を創意工夫する。
- 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な発声，発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌う。

#### 5 題材の評価規準

音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
関①「荒城の月」の歌詞が表す情景や心情，曲の表情や味わいに関心をもっている。	創①「荒城の月」の拍子，速度，短音階による旋律，強弱，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 創②「荒城の月」の歌詞が表す情景や心情，曲の表情や味わいを感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	技①「荒城の月」の歌詞が表す情景や心情，曲の表情や味わいを生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，日本語の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

#### 6 本題材で位置付ける〔共通事項〕

〔共通事項〕	本題材における具体の姿
リズム	滝の原曲と山田の補作編曲とのリズムの違い
速度	A n d a n t e, L e n t o
旋律	短調の音階
強弱	m f, f, p, p p, クレシェンド, デクレシェンド
形式	2部形式

#### 7 題材の指導と評価の計画(全3時間)

◇ねらい ○学習内容 ・学習活動	教師の指導・支援	評価 規準
第1時(本時) ◇「荒城の月」に関心をもち、歌詞が表す情景や心情と曲想を感じ取る。		

<p>○「荒城の月」の歌詞の内容や曲想を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「荒城の月」について学習したことや聴いて感じたことをワークシートに記入する。</li> </ul> <p>○「荒城の月」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「荒城の月」の音取りをする。</li> </ul> <p>○「荒城の月」の滝原曲と山田補作編曲を比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれを比較聴取して違いを感じ取り、グループで話し合う。</li> <li>・リズムや速度の違いについて教科書の楽譜で確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作詞者，作曲者，曲の成立背景，歌詞の内容を理解させる。</li> <li>・滝の原曲と山田補作編曲とを比較して感じ取ったことを発表させる。</li> </ul>	<p>関① 創①</p>
<p><b>第2時</b> ◇「荒城の月」のリズム，速度，旋律(音階)，強弱，形式などを意識して，音楽表現を工夫する。</p>		
<p>○前時の学習を生かして，「荒城の月」の音楽表現を創意工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時で学習したことを振り返りながら，「荒城の月」を歌い，どのような表現をしたいかを考える。</li> <li>・リズム，速度，短音階による旋律，強弱，形式の特徴を捉える。</li> <li>・「荒城の月」の表現をどのように工夫するかを考え，ワークシートに記入する。</li> <li>・グループになり，それぞれの表現の工夫について紹介し合い，試しに歌いながら，グループの表現の工夫をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズム，速度，短音階による旋律，強弱，形式の特徴を表現の工夫に生かすことを伝える。</li> <li>・実際に歌ったり聴き合ったりして確認しながら，それぞれのグループの表現の工夫をまとめるよう助言する。</li> </ul>	<p>創②</p>
<p><b>第3時</b> ◇「荒城の月」の歌詞が表す情景や心情，曲の味わいを生かして曲にふさわしい音楽表現で歌う。</p>		
<p>○前時で話し合った表現の工夫を生かし，主体的に「荒城の月」を歌唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループの表現の工夫を発表し合う。</li> <li>・各グループが工夫した表現を生かして全員で歌う。</li> <li>・自分たちの表現の工夫が全員の歌に生かされていたか，他のグループの工夫はどうだったかを，各自のワークシートに記入する。</li> <li>・題材全体の学習の振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指揮をしたりグループで模範唱をしたりして，工夫が伝わるように説明させてから全員で歌わせる。</li> </ul>	<p>技①</p>

8 本時の学習指導（1 / 3）

(1) 指導目標

- 「荒城の月」の歌詞が表す情景や心情と曲の特徴を感じ取ることができるようにする。

(2) 指導過程

過程	学習活動	教師の指導・支援 □ は「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイントと、Cへの支援	評価規準 評価方法
導入	<p>1 音楽クイズを答える。</p> <p>2 「荒城の月」の学習の見通しをもち、本時のめあてを確認する。</p> <p>「荒城の月」の歌詞が表す情景や心情と曲の雰囲気を感じ取ろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふるさと」の曲名や、「荒城の月（ドイツ語による歌唱）」がどこの国の曲かを問い、共通点に気付かせる。</li> </ul>	
展開	<p>3 「荒城の月」の歌詞の内容や曲想を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「荒城の月」の歌詞を音読したり、範唱を聴いたりして、歌詞が表す情景や心情、曲想などをワークシートに書く。</li> </ul> <p>4 「荒城の月」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「荒城の月」の音取りをする。</li> </ul> <p>5 「荒城の月」の滝原曲と山田補作編曲を比較聴取する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれを比較聴取して、どう変わったかを考え、グループで話し合う。</li> <li>・リズムや速度の違いについて教科書の楽譜で確認する。</li> </ul>	<p>教師の指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作詞者、作曲者、歌詞の特徴について、資料を提示しながら理解させる。</li> <li>・感じ取ったことを発表させる。</li> <li>・歌うことで旋律の特徴を感じ取らせる。</li> </ul> <p>□ B・自分なりに音読や音取りをしている。（観察）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感じ取ったことを自分なりの言葉でワークシートに記入している。（ワークシート）</li> </ul> <p>□ Cへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その生徒のよさを褒め、やる気を引き出す。</li> <li>・友達の記述を参考にさせる。</li> </ul> <p>教師の指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムや速度の働きの効果を知覚・感受させる。</li> <li>・付箋紙に自分の考えを書かせ、ワークシートに貼る。</li> </ul>	<p>関① （観察ワークシート①）</p> <p>創① （観察ワークシート②）</p>

		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>B・リズムや速度の違いに気付いて付箋紙に記入したり話し合ったりしている。</p> <p>Cへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特徴がみられる部分を取り出して、教師が歌ってみせたり友達の記述を参考にさせたりする。</li> </ul> </div> <p>・グループで話し合ったことを発表させる。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ</p>	<p>6 本時の活動を振り返る。</p> <p>7 次時の学習内容を知る。</p>	<p>・めあてが達成できたか振り返らせる。</p> <p>・次時は、感じ取ったことを生かして表現を工夫しながら歌唱の活動を知らせる。</p>	